情報・電算関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和５年７月１４日（金）午後１時３０分から午後２時１９分まで
２　会　場　愛知県自治センター４階大会議室
３　当番市　清須市
４　出席者　【県】総務局情報政策課　福井武志課長補佐　以下３名
　　【市】名古屋市総務局行政ＤＸ推進部
　　デジタル改革推進課　中村和季課長　以下３７名
　　【市長会事務局】財政係　成瀬博幸係長　以下２名
５　内　容
⑴　開会
（事務局）
・　愛知県市長会では、１５部門に分けて各種部課長会議を開催しており、その１つがこの電算・情報関係部課長会議となります。
・　各部門における課題等について意見交換や情報提供を行い、県の方から助言をいただくことを目的として例年開催しています。

⑵　あいさつ
○県出席者紹介（事務局）
○県職員あいさつ
（総務局情報政策課　福井課長補佐）
・　皆様には日頃から県の情報を施策、推進に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
・　電算情報関係の分野においては、相当に早くて大きい変化になっております。本日の議題になっております生成ＡＩ等、革新的技術が次々と登場し、私たちの生活や経済活動等、大きな変化をもたらすものと言われています。
・　本日の会議は、県内各市の情報主管課の皆様が、情報行政の議題について議論される、大変貴重な会議であると伺っております。この会議が有意義なものとなりますことを期待いたしますとともに、県といたしましても、今後の情報政策の取り組みに、大いに参考にさせていただきたいと存じます。
・　引き続き皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

⑶　議題
（事務局）
・　議長については、前回会議において市制施行順により当番市は、清須市と決定しておりますので、林企画政策課長様よろしくお願いします。
（議長）
○あいさつ及び進行方法の説明
　清須市の林です。
　各市の状況は、前もって配布しておりますので、各市の状況の発表は、行わず、議題ごとに、　①提案市の趣旨説明、　②議長からとりまとめ状況の説明、③市の回答の補足説明がある市は補足説明、　④他の市の状況を確認したい場合は、聞かせていただき、　⑤議題提案市において、これで良いかなど確認させていた

だき、　⑥最後に必要に応じて愛知県の方からコメントをいただくという順番で進めさせていただきます。
　また、この会議は、要望の場ではなく、情報や意見交換の場として開催するものですので、皆様からの活発な意見と情報共有をお願いします。

●議題１　データ入力代行業務の運用方法について（岡崎市提出）
（岡崎市趣旨説明）
・　紙媒体に記載された情報をデータ化するデータ入力代行業務を庁内に勤務する作業従事者の人材派遣に依頼し、実施しているが、当該派遣に係る契約が令和６年３月末までで終了する。
・　本件について、令和６年４月以降の当該業務について、現行と同様に人材派遣で対応できる事業者が減少している現状に鑑み、業務委託も含めて依頼先を検討しています。
・　次期の運用を検討する上で参考にしたいので、各自治体においてデータ入力代行業務をどのように運用しているのかご教示ください。

（議長）
・　外部に発注している場合の契約主体については、各課で契約しているケースが多く、１０弱の市が情報管理部門での取りまとめとなっています。
・　契約の方法については、ほとんどの市が業務委託で派遣や一時的な会計年度任用職員の採用など、ケースにより契約方法を使い分けている市もあります。
・　契約金額、運用内容については、業務のボリュームにもよることから、様々ですので、記載内容を確認してください。
・　外部に発注していない場合の運用方法については、ＡＩ－ＯＣＲを活用している市が１２市、この他に職員の対応とＡＩ－ＯＣＲ、ＲＰＡの組み合わせる市もあります。
・　その他については、記載内容をご確認ください。

（岡崎市）
・　豊橋市様と豊田市様に３点お伺いします。
・　執行は電算情報部門ということですが、実際に予算化しているのは電算情報部門か業務主管課かどちらですか。
・　今後、令和７年度末に向けて、システムの標準化がありますが、データ入力等見直しや検討していることがあれば教えてください。
・　総価契約ということですが、新たに生じた帳票のデータ入力の対応についてお聞かせください。

（豊橋市）
・　基本的には情報部門で取りまとめて契約を行っていますが、一部の業務については担当課で行っています。税関係の大きなものについては、担当課で契約しています。
・　情報部門で取りまとめているものの予算は、全て情報部門の予算です。その後の執行で各課に按分は行っていません。
・　標準化の運用は、現在検討中です。

・　各課からの新しい帳票の入力依頼等があった場合の対応は、基本的に予算編成時期までに相談があった場合には、作業量を確認し、できる範囲内であれば情報部門で予算要求しています。作業量が多い場合は、各課で予算要求を行っています。

（豊田市）
・　情報部門で、予算計上、契約、支払の全てを行っています。豊田市では、基幹業務システムへのインプットデータの作成を委託しており、タイピングの委託をしている色合いが強く、事業者が常駐しており、その予算を情報部門で計上しています。また、作業量が多いものについては、各課で予算要求しています。
・　システムの標準化後の運用ですが、規模の縮小は考えられますが、データ入力が残るものがありますので、当面は現行の契約を継続する必要があると考えています。
・　新規帳票への対応ですが、事業者が常駐していますので、繁忙期等を避けて、うまくスケジュール調整を行い、対応可能な件数であれば契約の範囲内で対応していますが、範ちゅうを超えるものについては、各課で対応しています。

（岡崎市）
・　現在ＲＦＩを行っている中で、業者からは単価契約という話もあるのですが、単価契約を行っている団体で何か課題があれば教えてください。

（議長）
・　清須市でも税務課の業務で単価契約を行っています。現在大きな問題は生じていませんが、見込み件数よりも増加した場合に、予算流用や職員による入力に切り替える必要があります。

（東海市）
・　税関係で単価契約を行っていますが、ペーパーレス化が進んでいる中で、契約を結ぶ際に提示した予定件数まで至らず７０％程度であることから、業者に直接は言われてないですが、総価が良かったという空気が感じられることから、少し課題ではあります。また、単価契約でも応札してくれる業者が少なくなってきており、毎年同じような業者が落札する感じとなってきています。

（あま市）
・　あま市では、情報部門で契約はまとめて行っていますが、予算は各課が持っています。その中で、現場の方で作業し、その完了検査も行うのですが、契約を情報部門で行っていることから確認することが難しいということと、契約条項の中にある、再委託、再々委託の部分で現場の職員は全然知らず、情報部門の職員が見に行くと、色々な課題が出てくることがあります。

（愛知県）
・　県においても、紙媒体等電子情報化されていない情報を手入力で電子情報化する業務で、紙媒体での申請、報告、納税が続く限り、なくすことができないと考えています。

・　各市において、派遣型であったり、委託型であったりと人材確保は難しいということをお聞きして、県としても理解しています。
・　県での運用ですが、過去に大型汎用コンピュータ機を運用していた当時は情報部門で契約を行っていました。平成２６年から本格導入された庁内クラウドサーバ機に置き換わってからは、各システム所管課で契約等を行っていますので、金額をはじめ契約の詳細は把握していません。
・　いくつかの課に確認したところ、契約は各課で行っており、契約方法は委託契約でした。確認した課のみとなりますが、派遣型はありませんでした。
・　契約の種類は、総価契約、単価契約それぞれでした。契約金額は契約の都合上、申し上げられません。
・　運用方法は、手書きで金額を記載した納付書を業者に渡し、業者側でパンチ入力をし、ダブルチェックを行っています。納期については、契約によって様々です。

●議題２　ガバメントクラウド利用の検討状況について（豊田市提出）
（豊田市趣旨説明）
・　ガバメントクラウドは、政府情報システム及び地方公共団体情報システム等のスマートなクラウド利用を促すことで、インフラ構築管理コスト及び工数削減、セキュリティ品質及び開発スピードの向上、継続的改善の実現を目指すことを目的とされています。
・　先行事業の採択団体による試算では、多くの場合は現状よりもコストが増加する結果となっておりコスト削減効果が期待できない。
・　責任分界点の観点から、各システムの責任範囲におけるセキュリティ対策の設計が必要となる。
・　以上から、ガバメントクラウドの利用に関して、現時点での検討状況についてご教示ください。

（議長）
・　ガバメントクラウドの利用については、ほとんどの市が予定も含め、利用する方針です。
・　利用開始時期につきましては、システムの標準化の目標年度である、令和７年度までの利用開始を想定しているところがほとんどです。
・　利用方式は、共同利用が１６市、単独利用が６市で、ＣＳＰ事業者は、基本国が対象としている４事業者が多く、一部基幹系のシステムベンダーによるものという回答があります。
・　業務の範囲は、標準化対象２０業務を基本に、一部関連システムを範囲としています。
・　セキュリティ対策は、未定、導入ベンダー等との調整など、今後検討という市が多く、具体的な対策については資料の記載のとおりとなります

（豊田市）
・　知多市様、愛西市様のＣＳＰ事業者ですが、国が対象とする４事業者とは異なりますが、既存の基幹業務システムのベンダーの名前が書かれており、このベンダーがどこを使うか、どこであれば提供できるかという理解でよろしいでしょう

か。

（知多市）
・　豊田市様がおっしゃるとおりで、富士通Ｊａｐａｎがベンダーで、そこがどこを使うかによるところです。

（事務局）
・　愛西市様は本日欠席ですが、愛西市様からの回答ですが、ＣＳＰについては、現段階で事業者が決定していませんので、お見込みのとおり、既存ベンダーにＣＳＰ事業者の選定も含めて調整しています。

（豊田市）
・　碧南市様にシステム業務範囲の中で、証明書発行のためのバックアップシステムを庁内に設置すると記載がありますが、このバックアップシステムがどこまでできるものを想定しているのか、機能として証明書発行機能のみをバックアップシステムとして設ける予定なのか、情報更新等々全てできるものを構築予定であるのか、またそのコストはどの程度になると見込んでいるのか教えてください。

（事務局）
・　碧南市様も本日欠席ですが、回答を頂いています。
・　システム構成、コスト等については、現在調整、検討中とのことです。
・　システムは、クラウド上にある前日までのデータをダウンロードし、そのデータで証明書や納付書の発行の機能を持つ簡易なシステムを庁内に設置する予定としています。
・　対象とするシステムは、住民記録、各税、後期高齢者、介護保険のシステムのみとする予定です。

（豊田市）
・　名古屋市様にお伺いします。
・　システム業務の範囲にファイルサーバが含まれていますが、現行のファイルサーバから完全にガバメントクラウドに移行されるのか、現行とガバメントクラウド上のファイルサーバを併用されるのか。
・　また、どのような理由でそのような判断をしたのか教えてください。
・　業務の範囲にコミュニケーションツールといったグループウェアが含まれていますが、現在使用しているグループウェアをガバメントクラウド上に乗せ換えるのか、これを機にグループウェア製品の見直しを考えているのか、製品名も含めて、教えてください。

（名古屋市）
・　ファイルサーバですが、現行オンプレミス環境で運用している中で、番号系のシステムについては、それぞれファイルサーバを構築しているという状況があります。
・　標準化というせっかくの機会であるので、過渡期では並行稼働時期はあると思っていますが、効率化の観点からこれらのファイルサーバをガバメントクラウ

ド上で統合して１つで運用していきたいと考えており、多重投資や調達の手間、管理コストの削減といったところを目的にそういった判断をしています。
・　グループウェアは、名古屋市の場合、ＬＧＷＡＮ系で電子メールやＬｏｇｏチャットなどのツールを使っています。
・番号利用事務系では、業務システムごとに必要に応じて、メールサーバを構築しています。
・　コミュニケーションツールもそれぞれがその都度用意していることもあり、調達の手間や管理コストのところで、多重投資になっていると思われますので、システム標準化のタイミングでガバメントクラウドに移行したいというところがあります。
・　この移行にあたっては、まだ具体的な製品といったところまで検討は進んでいない段階です。

（尾張旭市）
・　本市は、２０業務全てがガバメントクラウド対応と回答していますが、最近、戸籍業務で委託業者から自社クラウドで行いたいとの話があり、補助を受けて行うべきか、この部分を切り離して行うべきか悩んでいます。回答と異なりますのでお伝えしておきます。

（愛知県）
・　市役所と県庁では多少異なりますが、県の現状をお話しします。
・　案件において、ガバメントクラウドを利用する可能性のあるシステムは生活保護と児童扶養手当の２つがあります。
・　生活保護については、令和７年度に改修予定であるため、まだ検討が進んでいません。
・　児童扶養手当については、標準化に関する現行システムの調査段階で、情報収集を行っている状況です。
・　どちらも具体的な検討が進んでおらず、利用する見込みについても未確定な状況です。

●議題３　生成ＡＩの活用について（清須市提出）
（清須市趣旨説明）
・　急速に発展している生成ＡＩについて、文書作成や施策の立案等業務の効率化を図る有効なツールとして、その活用について、検討されていると思います。
・　ＡＩの活用にあたっては、機密情報、個人情報の取扱いや生成される文書やコンテンツの正確性・安全性等考慮しなければならない点もあり、検討している状況であると思います。
・　業務で利用することが決定しているか。決定している場合、どのような内容かご教示ください。

（議長）
・　ほとんどの市が業務利用については、検討中又は利用しないとなっていますが、５市が利用を決定しています。そのうち、２市が実証的に利用する状況です。

（長久手市）
・　長久手市では、Ｌｏｇｏチャット経由での生成ＡＩの活用を検討しています。Ｌｏｇｏチャットを利用している団体もありますので、情報共有したいと思います。

（議長）
・　西尾市、稲沢市、尾張旭市、小牧市、刈谷市、常滑市、豊明市、名古屋市、豊橋市がＬｏｇｏチャット経由での活用を予定しているようですので、この後にでも情報共有していただければと思います。

（清須市）
・　豊田市様の回答の中に資産管理台帳への登録とありますが、何の登録かを教えてください。

（豊田市）
・　豊田市では、資産管理台帳システムという独自のシステムがあり、各所属が導入する情報資産を管理する仕組みがあります。
・　ハードウェアやソフトウェアの資産を登録し、実際どこでどのように使っているかをといったものを使用情報という形で登録する仕組みがあります。
・　ＣｈａｔＧＰＴのようなサービスは実態が伴わないのですが、パソコンで使用状況だけを登録しており、使用にあたっては、資産管理台帳にどういった用途で使用者がこのサービスを使っているということを登録するというルールを定めています。

（清須市）
・　既に活用されているということで、実際業務の効率化を図ることができた事例がありましたら、教えてください。

（豊田市）
・　生成ＡＩの利用は全庁的に決定していますが、決定が６月２０日と直近ですので、具体的な事例の整理はこれからになります。
・　６月２０日以降、１００名弱の職員が試験的に使用したいと資産管理台帳への登録をしています。

（愛知県）
・　愛知県においても業務での利用は現在検討中です。
・　６月８日に記者発表を行ったとおり、庁内での利活用について活用が見込まれる業務に係る関係所属の職員等で構成する検討チームを、知事を本部長としてＤＸ推進本部内に設置しました。
・　検討チームでは、生成ＡＩの具体的な活用分野や活用方策、使用する際のガイドラインを検討し、秋頃までにガイドラインの策定を予定しています。
・　今後策定するガイドラインについては、あいちＡＩロボティクス連携共同研究会を通じて市町村の皆様にも提供させていただく予定です。

●議題４　その他

（議長）

・　せっかくの機会ですので、会全体を通じて何かご意見、ご質問等がありましたら、挙手をお願いします。

・　特にないようですので、次年度の当番市の決定についてです。

⑷　次年度当番市の決定

（事務局）

・　市制施行順によりまして、議長当番市は北名古屋市様にお願いすることとなります。北名古屋市情報化ＤＸ推進室長　織田様よろしくお願いします。

⑸　閉会

・　これをもちまして電算・情報関係部課長会議を閉会させていただきます。
ありがとうございました。

以上